



一生霞ヶ浦にいる魚



コイ 【コイ科】
全長 60cm ほど。フナに似ているが、頭や目が体に対して小さく、口もとに2対のひげがある。



キンブナ 【コイ科】
全長 15cm ほど。雑食性で底生食の傾向が強く、小動物、水草、付着藻類を食べる。



ギンブナ 【コイ科】
全長 25cm ほど。雑食性で動物プランクトン、付着藻類、底生動物などを食べる。ほとんどがメスである。



国内 **ゲンゴロウブナ** 【コイ科】
全長 40cm ほど。本来は琵琶湖の固有種である。植物プランクトンを食べる。



アカヒレタビラ 【コイ科】
全長 6-8cm ほど。雑食性で、藻類、水草、プランクトン、水生昆虫や甲殻類、魚卵などを食べる。



ヤリタナゴ 【コイ科】
全長 10cm ほど。雑食性で、小型水生昆虫や甲殻類、藻類などを食べる。



ワカサギ 【キュウリウオ科】
全長 14cm ほど。細長くひれは小さい。背びれの後ろに小さなあぶらびれがある。



シラウオ 【シラウオ科】
全長 8cm ほど。プランクトンを捕食して成長する。産卵した後は1年間の短い一生を終える。



マナマズ 【ナマズ科】
全長 60cm ほど。ドジョウやタナゴなどの小魚、エビなどの甲殻類、昆虫、カエルなどの小動物を食べる。



ミナミメダカ 【メダカ科】
全長 4cm ほど。2003年に絶滅危惧種に指定。目が大きく頭の上端から飛び出していることが名前の由来である。

無印：在来魚 明治時代より前からすんでいた魚

国内：国内外来魚 他の県から来た魚

国外：国外外来魚 外国から来た魚

※外来魚は在来魚とエサやすみかの奪い合いを起こし、生態系を変えるなどの問題を起こしています。



ヌマチチブ 【ハゼ科】
全長 15cm ほど。雑食性で、藻類や小動物を食べる。気が荒く、縄張りをつくる。



ドジョウ 【ドジョウ科】
全長オス 11cm, メス 12cm ほど。茶褐色で、背部に斑紋を持つ。ユスリカなどの幼虫やイトミミズ、付着藻類を食べる。



モツゴ 【コイ科】
全長 8cm ほど。水質汚濁への適応力が高い。雑食性で、小型水生昆虫やプランクトン、付着藻類を食べる。

一生霞ヶ浦にいる魚



国外 **オオクチバス**
【サンフィッシュ科】
全長 30-50cm ほど。アメリカ原産。肉食性で、水生昆虫・魚類・甲殻類などを食べる。



国外 **ペヘレイ**
【トウゴロウイワシ科】
全長 50cm ほど。南米ラプラタ川原産。肉食性で、小型の魚類、甲殻類、水生昆虫などを食べる。



国外 **ブルーギル**
【サンフィッシュ科】
全長 20cm ほど。北アメリカ原産。雑食性であるが、主に水生昆虫・甲殻類・貝類・小魚・魚卵を食べる。



国外 **チャネルキャットフィッシュ**
【アメリカナマズ科】
全長 50cm ほど。北アメリカ原産。雑食性であるが、主にエビや小魚、カエル、昆虫を食べる。



国外 **タイリクバラタナゴ**
【コイ科】
全長 6-8cm ほど。アジア大陸東部と台湾原産。オスは鮮紅色の婚姻色を呈す。付着藻類のほか、甲殻類なども食べる。



国内 **タモロコ**
【コイ科】
全長 10cm ほど。東海以西の本州、四国に分布する。



国外 **ソウギョ**
【コイ科】
全長 50-100cm ほど。中国原産。水草などを食べる。

川と行き来する魚



ウグイ 【コイ科】
全長 30cm ほどだが、50cm に達する個体もある。雑食性で水生昆虫、コケ、小さな魚、魚の卵を食べる。



オイカワ 【コイ科】
全長 15cm ほど。草食性傾向の強い雑食性で、藻類や水草、水生昆虫や水面に落ちた小昆虫、小型甲殻類などを食べる。



ヨシノボリ 【ハゼ科】
全長 5-10cm ほど。一生を淡水で過ごす河川型と、孵化後に川を下り海で過ごす成魚になると再び遡上する小卵型がある。



カマツカ 【コイ科】
全長 15-20cm ほど。水生昆虫などの底性の小動物や有機物を底砂ごと口から吸い込み食べる。



ニゴイ 【コイ科】
全長 50cm ほど。雑食性であるが、餌は季節ごとに変化し、生息水域で利用しやすいものを食べている。



国外 **ハクレン**
【コイ科】
全長 50-100cm ほど。中国原産。植物プランクトンを食べる。

海と行き来する魚



マハゼ
全長 13-15cm ほど。産卵期は1月から5月。食性は肉食性の傾向が強いが藻類を食べることもある。



アユ 【キュウリウオ科】
全長は地域差や個体差があり、10-30cm ほどである。石についた藻類を食べる。



ボラ 【ボラ科】
全長 60cm ほど。河口や汽水域に多く生息する。水面上にジャンプする。雑食性である。



ウナギ 【ウナギ科】
全長 1m ほど。甲殻類や水生昆虫、カエル、小魚などいろいろな小動物を食べる。

魚たちにとっての霞ヶ浦

霞ヶ浦や流入河川には、魚をはじめとするたくさんの生き物が生活しています。産卵場所は水生植物や川底、湖岸底の砂、貝殻さらに湖底に掘った穴の中、さらには二枚貝の体内(鰓や外套膜)などいろいろあります。霞ヶ浦の魚類が安定して生息できるためには、良好な水質や生息するための場所(環境)が整っている必要があります。

写真の一部は茨城県水産試験場内水面支場のご協力をいただきました。